

HTEC

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西

発行責任者
 校長 村上 洋

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
 TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
 ケータイで
 簡単アクセス!



トpptトーク 2008

本校では年に一度、本田技研工業(株)よりトップをお招きし、講演を開催しております。今年度は、12月9日(火)に本田技研工業(株)常務取締役であり、カスタマーサービス本部長、そして本校の理事でもある高野明さんにお越しいただきお話ししていただきました。



H-TEC理事「Honda」を語る!

サービスは自動車ビジネスの柱

数年前から日本の自動車マーケットは、新車販売が利益に繋がりにくい状況です。この状況の中、利益を出しているのはサービスで、自動車ビジネスの柱となっています。この柱であるサービスが、お客様にどう評価されているのかを、第三者機関が2008年に行ったお客様満足度調査で、Hondaは量販車ブランド日本No.1、世界No.2という結果を得られました。

これは約1億4000万人いるHondaユーザーの方々に、大変満足していただいているということであり、皆さんの先輩が頑張ってくれているということですね。

車は進化する皆さんの腕の見せ所

技術が進化し車が複雑化していく中、サービスの領域では「車が直らない」というお客様からの苦情が上位を占めています。

この「車が直らない」「直せない」この原因は、世界共通で「電装」と「異音」が大半をしめています。

ですから皆さんには、他はもろんですが、この「電装」と「異音」に強い整備士になつていただきたい。

この2つができるようになればお客様の信頼を掴むことができます。

お客様のありがとうが一番の喜び

販売店で働く皆さんの先輩に仕事のやりがいを探ねると「お客様にありがとうと言われたとき」という回答を良くいただきます。

総じてこれは、お客様の喜ぶ顔が見たくて仕事をしているということであり、それが一人ひとりの生きがいや達成感につながります。



Hondaのサービスについて語る高野理事(写真右) 真剣に高野理事の話をお聴きする学生たち(写真下)



自動車整備科1年生 河隅 龍太郎 くん

「お客様に喜んでほしい」「お客様のありがとうが一番の喜び」など Honda はお客様のことを常に一番に考えている企業だと改めて思いました。

またトpptトーク後半に流れた本田宗一郎さんの当時のメッセージ「車の修理というのはお客様に喜んでもらうための行為であって、車をただ機械的に直すのでは駄目、車の不具合に対するお客様の不安な心も治さないと駄目である」という言葉にとても感動しました。



自動車整備科2年生 松本 直樹 くん

サービスの満足度調査で量販店ブランド Honda が国内1位!先輩方の日々の努力がお客様に伝わっていることを実感しました。私もその一員となれるように働きたいです!

自動車研究開発科 2年生

アメリカ大会代表マシン「WR」に決定



アメリカ大会出場マシン選考会に勝ったチーム「WR」



企業の方々にマシンのコンセプトや特徴を説明 チーム「R4」

●選考会結果

種目	点数配分	チームR4	チームWR
デザイン	150	84	80.7
コスト	100	53.3	55.4
プレゼンテーション	75	75	71.1
アクセラレーション	75	69.6	75
スキッドパッド	50	50	48.5
オートクロス	150	140.2	150
エンデュランス	300	261	300
燃費	100	30.1	100
合計	1000	763.2	880.7

単気筒エンジンを搭載し小型最軽量を目指したチーム「WR」と、四気筒エンジンを搭載しパワー溢れる走りを目指したチーム「R4」。対照的なマシンで競い合った選考会の結果は、安定した走りや燃費の良さが大きな決め手となり、チーム「WR」のマシンがアメリカ大会行きの切符を手に入れました。

今後は、選考会で決定したマシンを軸に全員が一丸となつて今年の夏に開催される学生フォーミュラアメリカ大会を目指し活動を行っていきます。



企業の方々と行われた講評会

